

▶ 事業

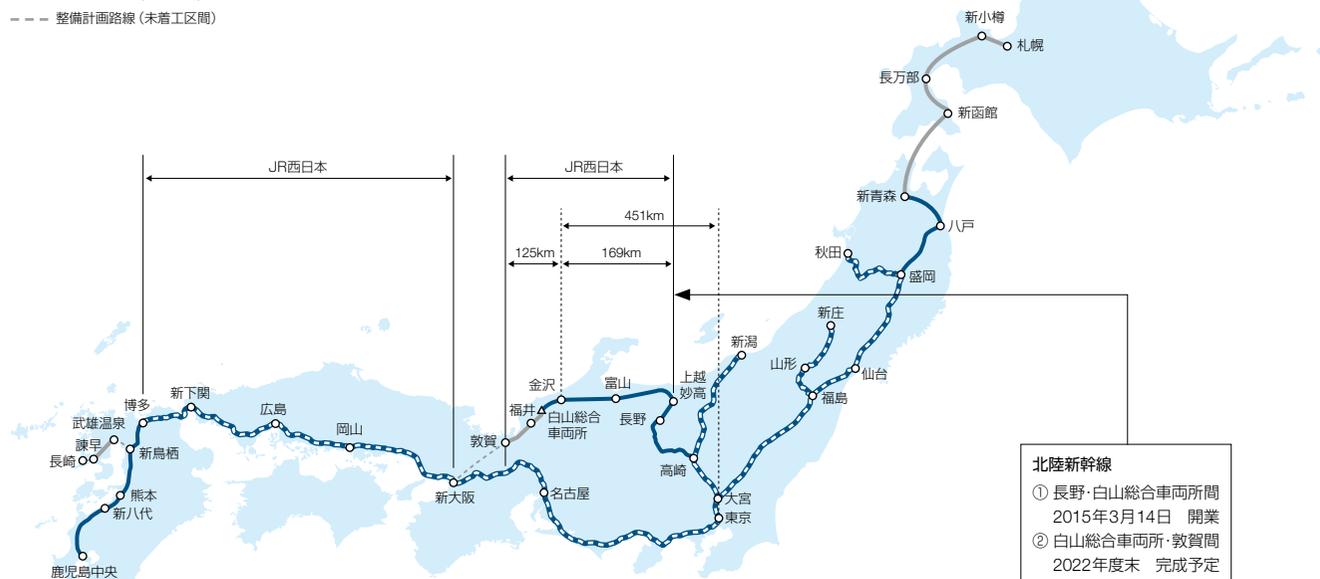
整備新幹線（北陸新幹線）

全国新幹線鉄道整備法に基づき、1973年に5路線の整備計画が決定

路線名	既営業路線	工事实施計画認可区間	費用負担
東北（盛岡～青森）	盛岡～新青森（2010年12月、178km）		
北陸（東京～大阪）	高崎～長野（1997年10月、117km） 長野～金沢（2015年3月、228km）	金沢～敦賀（125km）	<ul style="list-style-type: none"> 国（既設新幹線譲渡収入、公共事業関係費） 地方（国の1/2） JR（受益の範囲を限度とした貸付料等）
北海道（青森～札幌）		新青森～新函館（149km） 新函館～札幌（211km）	
九州（福岡～鹿児島）	博多～鹿児島中央（2011年3月、289km）		
九州（福岡～長崎）		武雄温泉～長崎（66km）	

整備新幹線の現状 2015年3月31日現在

— 営業路線
— 整備計画路線（着工区間）
- - - 整備計画路線（未着工区間）



(注) 白山総合車両所：金沢駅より西へ約12kmに位置

JR西日本グループ中期経営計画2017（アップデート）

北陸新幹線と北陸エリアの活性化

目標

- ① 北陸新幹線増収効果 130億円（2017年度）
- ② 関西～北陸～信越における相互流動の拡大

● 北陸～東京の相互流動拡大

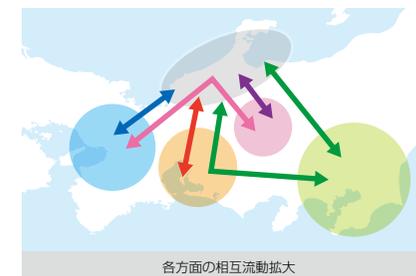
- ・航空機との競争力強化（ビジネスユーザー等）
- ・地域と連携した観光需要拡大（シニア、インバウンド等）
- ・新製車両W7系導入（2014年度10編成、2015年度1編成）

● 関西～北陸～信越の相互流動拡大

- ・サンダーバードの輸送品質向上
- ・地域の更なる魅力発掘・商品化・発信
- ・関西から新たな市場となる新潟・長野方面の観光の魅力発信

● 北陸エリアでの事業創造と地域共生の推進

- ・オープン、リニューアルした商業施設の開業効果最大化
- ・地域の名産品等を掘り起こし、地域の魅力発信



所要時間とシェア

	JR		航空機*3	開業前 鉄道シェア*4
	開業前*1	開業後*2		
石川～関東圏	約3時間50分	約2時間28分	約2時間50分	38.3%
富山～関東圏	約3時間10分	約2時間08分	約2時間30分	61.5%

*1 「開業前」は、上越新幹線+特急「はくたか」利用

*2 「開業後」は最速「かがやき」の所要時間

*3 アクセス、イグレスの所要時間も含む

*4 シェアは、国土交通省「旅客地域流動調査」および「航空輸送統計」によります。（2014年3月期、当社推定による速報値）